

平成22年2月

# 岡崎亮太 学位論文審査要旨

主 査 清 水 英 治  
副主査 重 政 千 秋  
同 佐 藤 慶 祐

## 主論文

インターロイキン8による気道平滑筋細胞の増殖および遊走についての検討

(著者：岡崎亮太、山崎章)

平成22年 米子医学雑誌 61巻 6頁～19頁

## 審査結果の要旨

本研究はヒト気道平滑筋細胞を用いて、インターロイキン8 (IL-8) 刺激による気道平滑筋細胞の増殖や遊走についてWST-8法やTrans chamber法を用いて検討し、そのシグナル伝達機構についてウエスタンブロッティング法で検討したものである。その結果、IL-8によって気道平滑筋細胞の増殖と遊走が亢進され、シグナル伝達機構についてはp42/p44 MAPKのリン酸化やRhoの活性化が認められた。このことによりIL-8による気道平滑筋細胞の増殖や遊走には、p42/p44 MAPKやRhoの活性化が深く関与していることが判明した。本論文の内容は、気管支喘息を含めた呼吸器の分野で、気道リモデリングに関するメカニズムの解明や難治性気管支喘息治療の新たな治療標的となる可能性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。